

2024年1月22日

大阪市建設局緑化課 殿

大阪から公害をなくす会  
道路公害反対運動大阪連絡会  
原発ゼロの会・大阪 エネルギー部会

## 公園樹・街路樹の伐採・撤去問題についての説明会の申し入れ

私たちは、道路公害など大気汚染による健康被害をなくし、市民が健康で安心して暮らせる環境の実現を目指して運動している市民団体です。また、脱原発・脱炭素社会の実現のために自然エネルギー・再生可能エネルギーの推進を目指して取り組んでいる団体です。

私たちは、都市における公園樹や街路樹には、次のような役割があると考えています。

- ①地球温暖化の原因ともなっているCO<sub>2</sub>を吸収する大切な資源である。
- ②気温の上昇を抑え、都会のヒートアイランド現象を防止する。
- ③公園の樹木や芝生は、市民に安らぎと憩い、潤いを与える。
- ④街路樹は騒音を減らし、大気汚染を防止し、火災時には防火の役割も果たす。

特に、大阪市内の緑被率は東京都区部の半分以下であるように、“緑が少ない”まちなっていることは、多くの市民が実感しているところです。まさに先の視点に立って緑を増やし緑被率をたかめることが、暮らしやすい大阪にするために強く求められていると考えます。

そんな大阪市において、「公園樹・街路樹の安全対策事業」の名のもとに、日常的な維持管理とは別に、公園樹や街路樹を1万9000本も伐採・撤去する事業が、55億円の巨費を投じて、短期間（2018年度～2024年度）に強行されています。その進め方は、伐採・撤去計画をホームページに掲載し、後は樹木に張り紙をただけで強行されており、市民は伐採・撤去作業が始まって初めて知る事態になっています。市民・住民への説明会や意見募集（パブリックコメント）もなく、まさに市民をないがしろにした形で進められています。

こんな状況を踏まえて、私たちは以下のことを要求しています。

1. 大阪市は、実施中の公園・街路樹の伐採・撤去計画について一旦作業をストップし、住民に説明し、住民の声・意見を聞く場を早急に設けること。
2. 大阪市は、倒木の撤去と植え替え、信号機の視界を遮る枝の剪定などは、公園樹・街路樹の維持管理として必要な予算を取って日常的に行うこと。
3. 大阪市は、公園・街路樹を大切に保全育成して緑被率を高め、“季節感と安らぎ、潤いのある街・おおさか”、市民が暮らしやすい大阪市にすること。

一方、大阪市の公園樹・街路樹の維持管理費は、この11年間（2012年～2022年度）でみると予算額はほとんど変わらないのに、何故か「樹木剪定数」は60%近くも激減しています。また、維持管理費には捕植・伐採・処分や事故防止のための撤去等も含むと明記しているにもかかわらず、何故5年間という短期間に別途55億円の予算を取って樹木の伐採・撤去を強行するのか、など全く理解できない疑問があります。

こうした疑問やいま進められている公園樹・街路樹伐採・撤去の計画のそもそもについての「説明会」を早急に持っていただくよう申し入れます。

以上